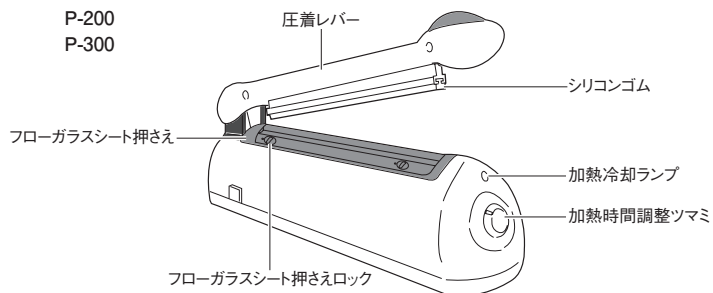
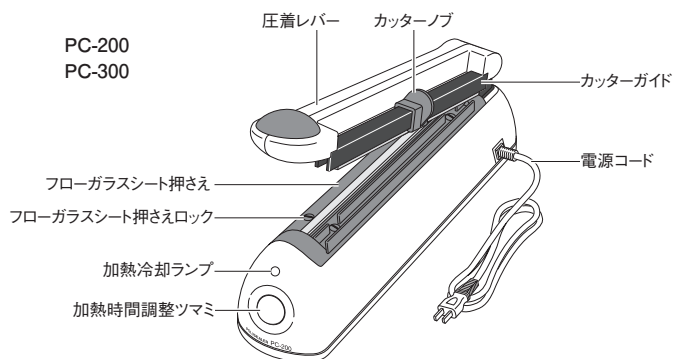


## 7 各部の名称

P-200  
P-300



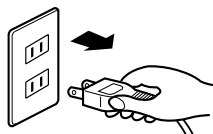
PC-200  
PC-300



## 8 電源コードの取出方向が左右いずれかに選択できます

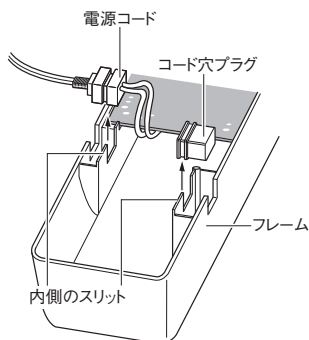
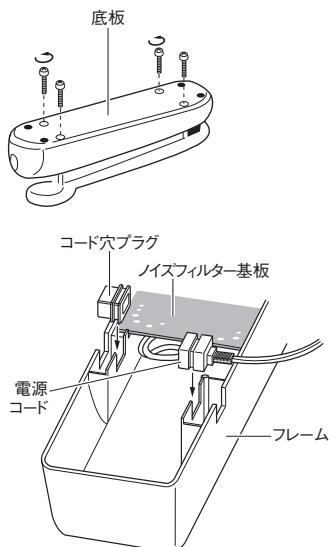
P、PC シリーズの電源コードは、作業場の環境や作業上の都合に合わせてフレーム側面左右いずれかに取り付け方向を選択することができます。工場出荷時にはタイマーツマミ側から見て右側に取り付けています。表紙イラストをご覧ください。

付け替え作業はシーラーの底板を取り外す作業が必要となりますので、下記の手順をよくお読みいただき、作業を行ってください。



必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で作業を行ってください。

- 1 シーラー本体を裏返し、底板を止めているビスをプラスドライバーで緩めて、底板を取り外してください。
- 2 電源コードとコード穴プラグをフレームから外します。
- 3 電源コードとコード穴プラグを最初に付いていた箇所とそれぞれ反対側にセットします。電源コード、コード穴プラグの溝をフレームの「内側のスリット」に合わせて差し込んでください。付け替え作業はノイズフィルター基板を取り外すことなく行えます。
- 4 1 で外した底板を確実にビスで止めて固定します。



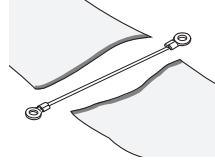
**警告** 電源コードが電極やスイッチレバー（分解図・部品表をご覧ください）等に緩衝すると断線や漏電の恐れがありますので、電源コードの取り回しに注意して作業を行ってください。

## 9 正しい使い方

製品を使用される時は以下の『正しい使い方』をよくお読みいただき、お使いください。  
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

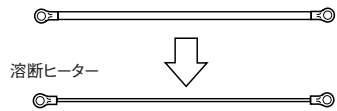
- 溶断シールを行われる場合は下記の説明をお読みいただき溶断ヒーターに交換してください。

**MEMO** 溶断シールは丸線の溶断ヒーターで袋（フィルム）を断ち切るシール方法です。

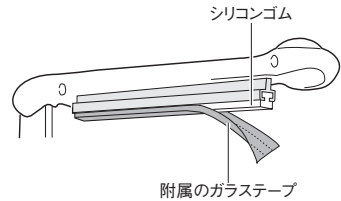


- 1 工場出荷の時にセットされているのは2mm幅ヒーターです。「10-2 ヒーターの交換」(→ P.21)を参照して、附属品の溶断ヒーターに取り替えてください。

2mm幅ヒーター



- 2 溶断シールは、通常のシールよりも高い熱が発生します。消耗部品の傷みを抑えるためにシリコンゴムの上に附属品のガラステープを貼り付けてください。
- 3 以上の準備を行っていただいた後、「9-1 本体の設置」(→ P.15)から順に作業を始めてください。

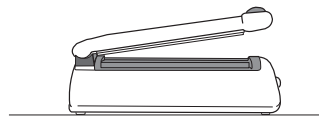


- 標準ヒーター（2mm幅）のまま使用される場合はここから作業をはじめてください。

### 9-1 本体の設置

製品本体を水平な面を持つ適切な作業台の上に設置してください。

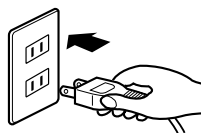
- ⚠ 注意** 電源コードに衝撃がかからない場所に設置してください。ポリシーラーは軽量ですので、コードに足などが引っかかると、製品ごと落下する恐れがあります。



## 9-2 電源コードの接続

電源コードの電源プラグを「1 仕様」(→ P.5)に記載している電圧・電力が確保できるコンセントに確実に根元まで差し込んでください。

**⚠ 警告** 規定の容量に合わない場合、火災などの危険があります。



## 9-3 タイマーでシール条件を設定する

タイマーで加熱時間を設定します。袋(フィルム)の材質、厚さなどにより設定値は変わりますので、袋(フィルム)を変えられた時はその都度、設定してください。

### ■ 加熱時間の設定

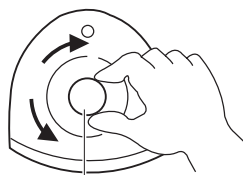
加熱時間調整ツマミを回して設定します。目盛を大きくすると加熱時間が長くなります。

(0.1 ~ 1.6 秒の範囲)

使用される袋(フィルム)の材質により加熱時間は異なります。

シールができる最短の時間で設定してください。作業速度が上がり、部品の無駄な消耗を抑えます。

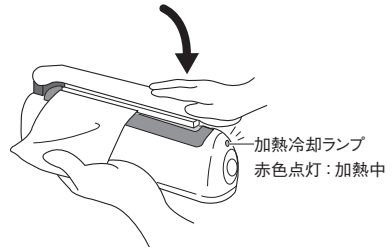
**⚠ 警告** 加熱目盛を大きくして“正しい使い方”の「9-5 冷却時間をとる」で説明する冷却時間をとらないで連続使用すると、火災などの危険があります。



加熱時間調整ツマミ

## 9-4 袋（フィルム）をセットし、シールする

シール部に袋（フィルム）をのせ、圧着レバーを押し下げます。押し下げている途中でマイクロスイッチが ON になり、加熱冷却ランプが赤色に点灯します。



### 【圧着レバーを押し下げるときの注意点】

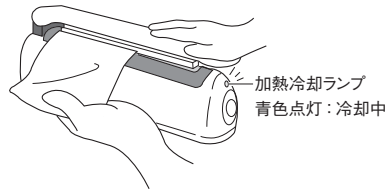
圧着レバーを押し下げると、マイクロスイッチが ON になりカチッと音がします。マイクロスイッチが ON になる位置よりもさらに下のレバーが止まる位置まで少し強く押し下げてください。

**注！** この時、袋（フィルム）がピンと張られた状態でないとシール線の上にシワができますので注意してください。

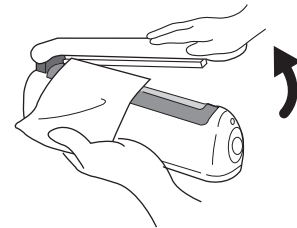
## 9-5 冷却時間をとる

加熱が終了すると加熱冷却ランプが青色に点灯します。

**MEMO** 青色の点灯時間（冷却時間）は、設定した加熱時間の2倍の時間になります。



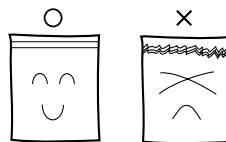
加熱冷却ランプの青色が消灯し、ピッとブザーが鳴ると冷却終了です。圧着レバーを上げてください。



## 9-6 シールのできあがり

加熱・冷却終了後、圧着レバーを上げれば、シール完了です。うまくシールができていない場合は再度、加熱の設定や圧着レバーを押さえる力を調整してください。

**MEMO** ポリシーラーの加圧力は、手で圧着レバーを押さえる力の強弱で調整します。



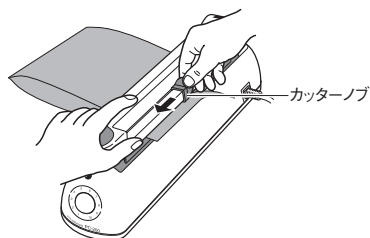
## 9-7 PC-200、PC-300 のカッター操作方法

PC-200、PC-300 は正しい使い方の 9-1 ～ 9-5 までの操作の後 (9-5 の操作の途中でも構いません) 圧着レバーを押さえたままの状態 でカッターノブをスライドさせて袋 (フィルム) をカットしてください。

加熱冷却ランプの青色が消灯し、ピッとブザー が鳴ると冷却終了です。圧着レバーを上げて ください。

**注意** カッター使用後は、カッターノブを圧着レバーの支点側へ戻した状態にセットしてください。また、不用意に圧着レバーを上へ持ち上げないようにしてください。

**MEMO** 電源プラグを抜いておくか、加熱目盛を 1 にしておけば同じ操作で袋 (フィルム) のカット作業だけを行えます。



## 9-8 作業終了後の点検

作業を終了する時や長時間使用されない時は電源プラグをコンセントから抜いてください。作業が終了したら、ヒーターや、フローガラスシートなどの消耗部品に汚れや破損がないか点検してください。

汚れがある場合は清掃を行ってください。破損がある場合は、取扱説明書に記載されている「10 消耗部品の交換方法」(→ P.19)をよくお読みいただき、部品の交換を行ってください。

